

JASDAQ

証券コード：2157

2016年8月期 第2四半期決算説明会

2016年4月15日



株式会社 コシダカホールディングス

目次

会社概要	3
組織図	4

2016年8月期第2四半期連結業績 5

決算のポイント	6
連結損益計算書	7
売上高	8
経常利益	9
当期純利益	10
売上高前年同期比と進捗状況	11
連結貸借対照表	12
連結キャッシュ・フロー計算書	13

2016年8月期第2四半期 セグメント別業績 14

カラオケ事業業績 15

カラオケ事業業績	16
ZEROカラについて	17
増減要因	18
国内売上高・店舗数推移	19
海外売上高・営業利益・店舗数推移	20

カーブス事業業績 21

カーブス事業業績	22
増減要因	23
店舗数推移	24
カーブス会員数推移	25

温浴事業業績 26

温浴事業業績	27
増減要因	28

通期業績予想 29

2016年8月期業績予想	30
--------------	----

下期の戦略と今後の展開 31

カラオケ事業	32
カーブス事業	33
温浴事業	34

株主還元策	35
コシダカグループの目指すもの	36
お問い合わせ	37

会社概要

会社名	株式会社コシダカホールディングス (KOSHIDAKA HOLDINGS CO., LTD.)
事業内容	事業会社の支配・管理、および当社グループにおける事業開発等
設立	1967年3月
東京本社	東京都港区浜松町二丁目4-1 世界貿易センタービルディング23階 ※ 登記上の本店所在地：群馬県前橋市
資本金	4億9,360万円
従業員数	グループ全体 3,640名 (2016年2月末)
主なグループ会社	株式会社コシダカ／株式会社韓国コシダカ 株式会社ムーン KOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE. LTD. KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE. LTD. K BOX ENTERTAINMENT GROUP PTE. LTD. 株式会社カーブスホールディングス／株式会社カーブスジャパン 株式会社ハイ・スタンダード 株式会社コシダカプロダクツ 株式会社コシダカビジネスサポート

経営理念

私達の使命は、進化させた有意なサービス・商品を常に考案し、
そして全世界の人々に提供し続けることによって、
豊かな余暇生活の実現と希望に溢れた平和な世界の構築に貢献することである



組織図

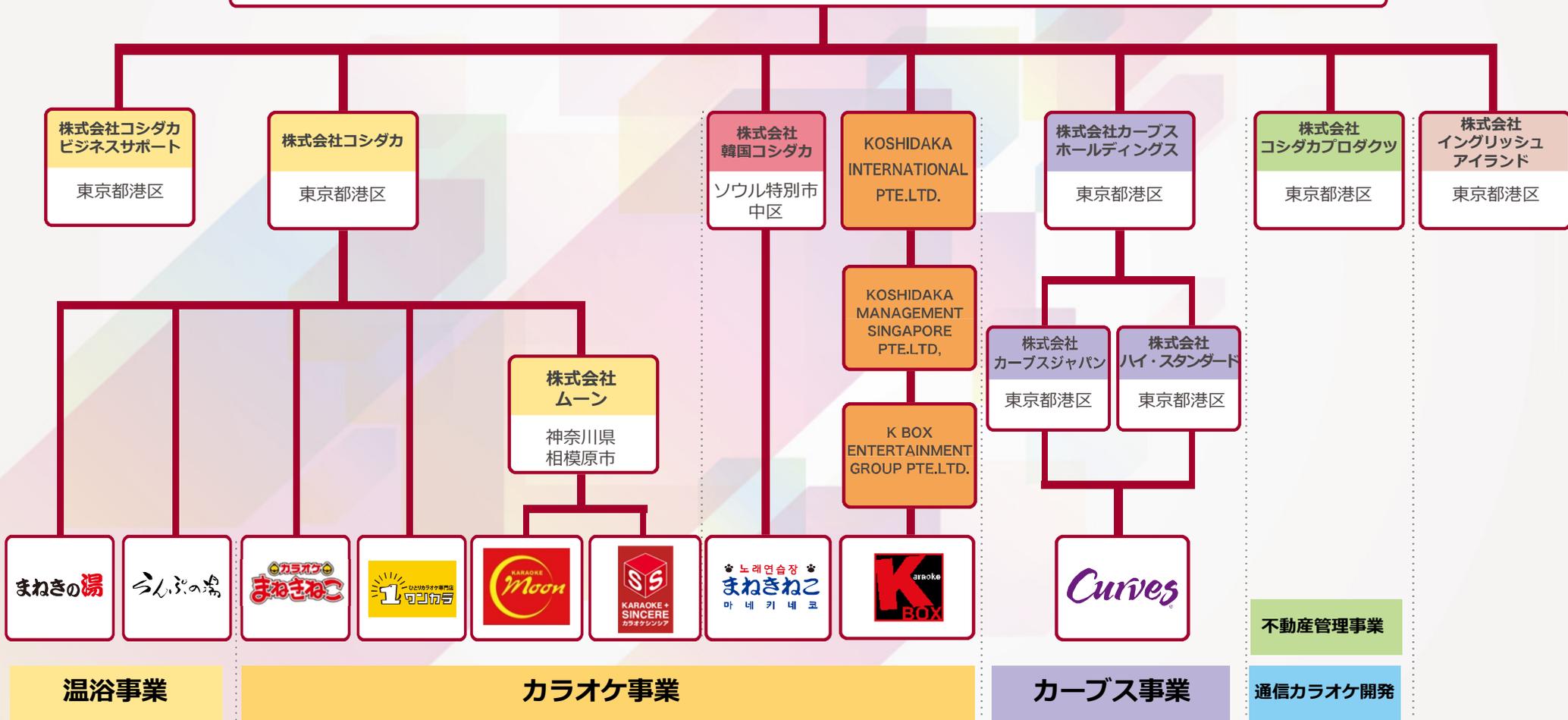


Koshidaka HOLDINGS

株式会社コシダカホールディングス

資本金：4億9,360万円 東京本社：東京都港区

※登記上の本店所在地は群馬県前橋市です。
(2016年4月15日現在)



株式会社コシダカホールディングス

JASDAQ

証券コード：2157

2016年8月期 第2四半期 連結業績



株式会社 コシダカホールディングス

決算のポイント

- **ZEROカラ大成功！！**
- **首都圏で16店集中出店実施**
- **クオリティ満足感醸成でカーブス事業
最高益更新**
- **全セグメントで黒字化達成！！**
- **準備期間完了新たなステージへ**

連結損益計算書

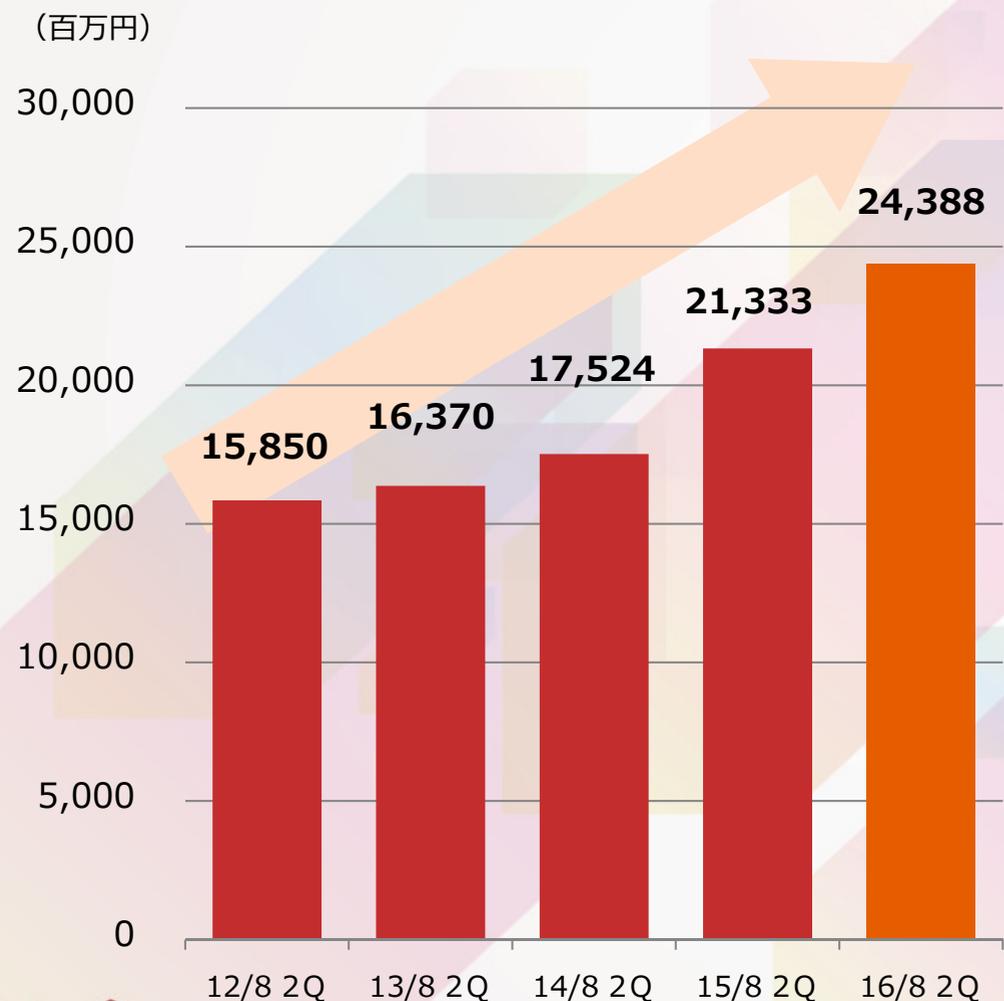
(百万円)

	2015年 8月期 第2四半期	2016年 8月期 第2四半期	前年同期比		(参考) 計画比 2016年1月8日発表	
			増減率	増減額	増減率	増減額
売上高	21,333	24,388	114.3%	3,055	101.9%	458
売上原価	15,499	17,974	116.0%	2,475	—	—
売上総利益	5,834	6,413	109.9%	579	—	—
販売管理費	3,131	3,836	122.5%	705	—	—
営業利益	2,703	2,577	95.3%	△126	113.4%	304
経常利益	2,747	2,481	90.3%	△266	108.3%	190
特別利益	6	97	1,616.7%	91	—	—
特別損失	256	36	14.1%	△220	—	—
四半期純利益	1,292	1,391	107.7%	99	128.6%	309

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入



売上高



売上高

(第2四半期)

243億円

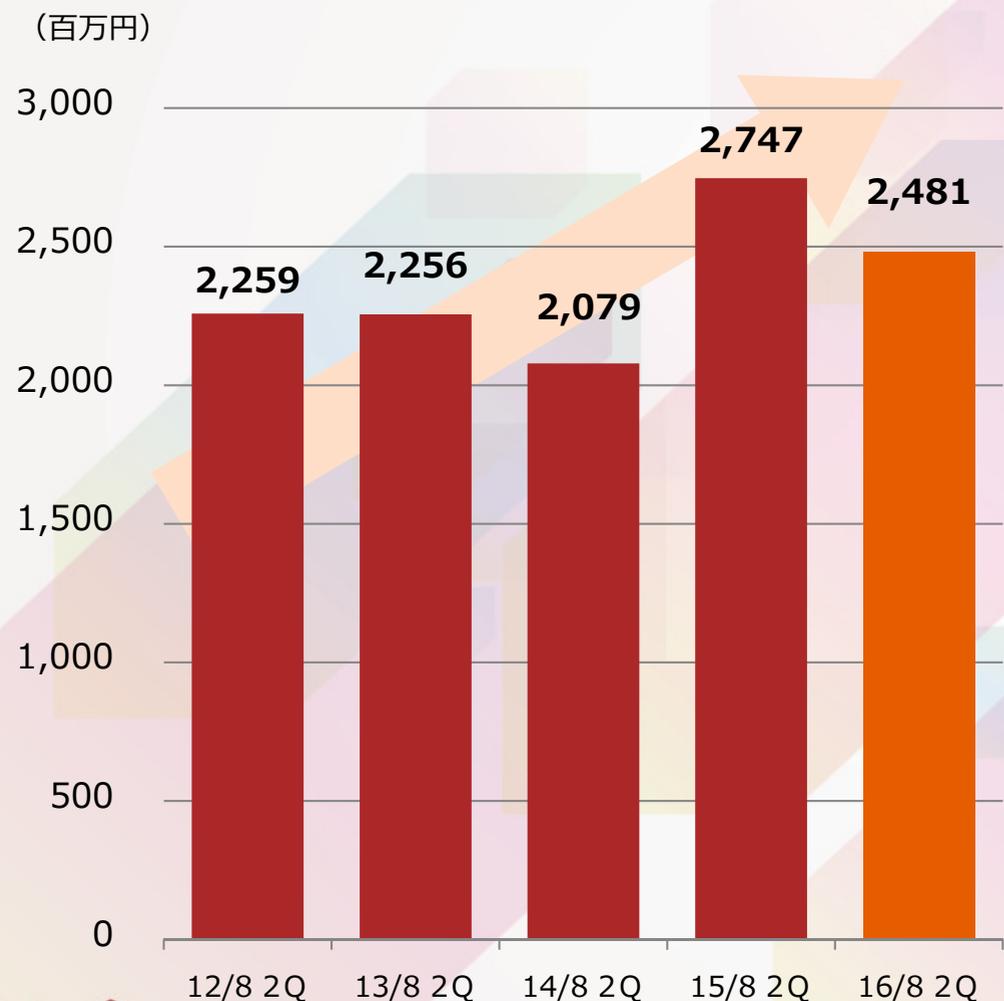
9期連続過去最高

※百万円未満切捨て



株式会社コシダカホールディングス

経常利益



経常利益 (第2四半期)

24億円

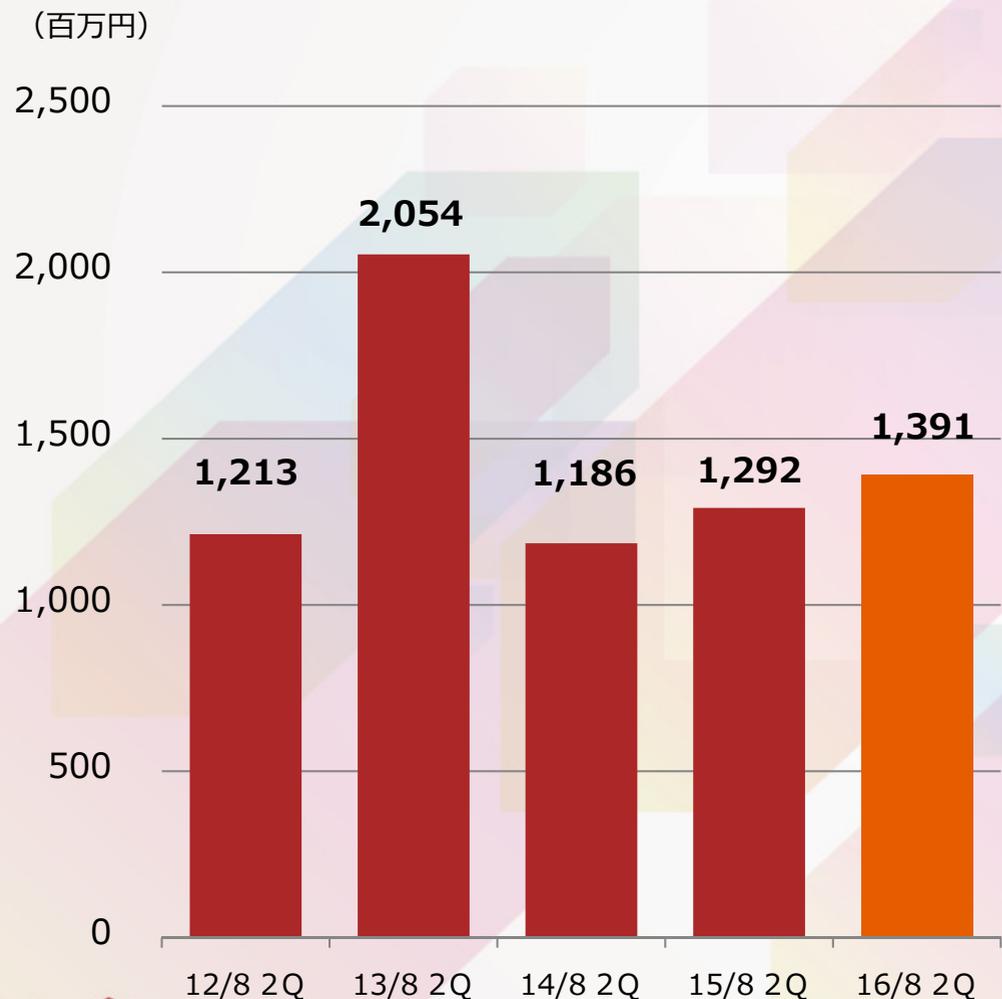
全セグメント黒字化

※百万円未満切捨て



株式会社コシダカホールディングス

当期純利益



当期純利益 (第2四半期)

13.9 億円

3期連続増益を 達成



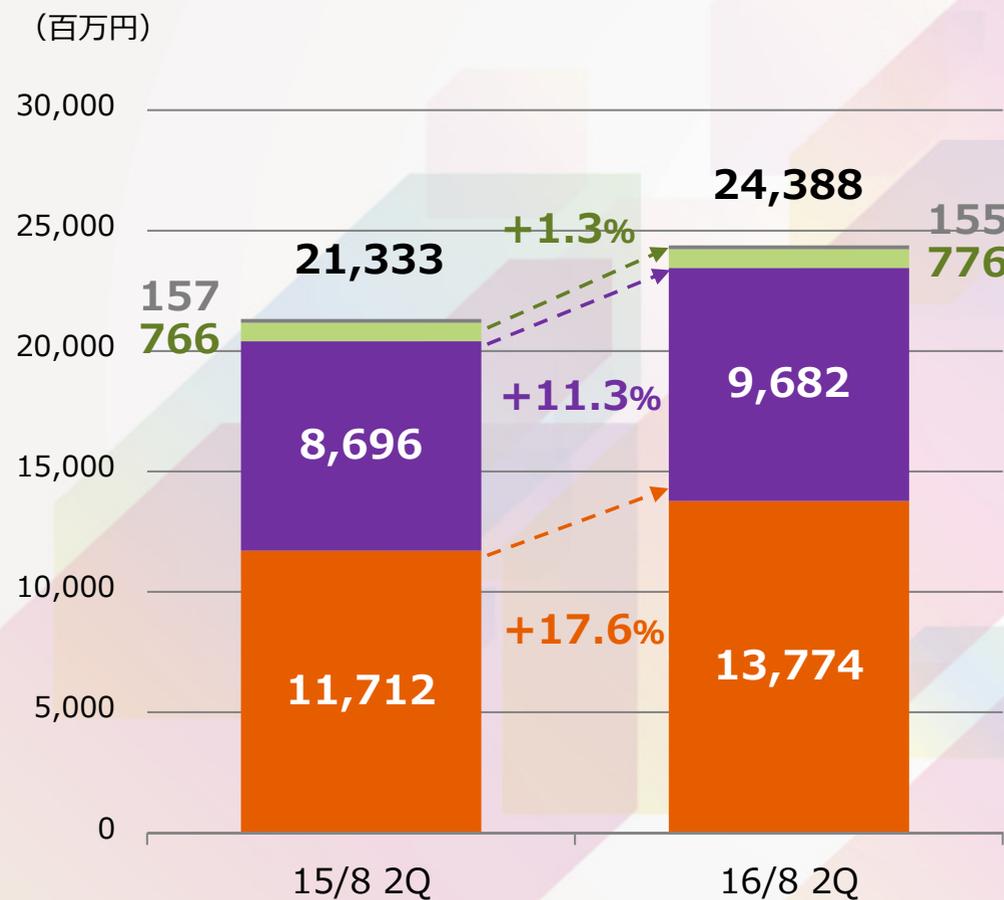
株式会社 コシダカホールディングス

※百万円未満切捨て

※2013/8 2Qは 15億36百万円の固定資産売却益（特別利益）を計上

売上高前年同期比と進捗状況

売上高前年同期比



(百万円)

	2015年 8月期 第2四半期	2016年 8月期 第2四半期	前年同期比 (%)
連結売上高	21,333	24,388	114.3%
カラオケ	11,712	13,774	117.6%
カーブス	8,696	9,682	111.3%
温浴	766	776	101.3%
不動産管理	157	155	98.7%

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

カラオケ カーブス 温浴 不動産管理



株式会社コシダカホールディングス

連結貸借対照表

	2015年 8月期	2016年 8月期 第2四半期	増減額
資産の部（合計）	30,663	32,157	1,494
流動資産	11,448	11,620	172
固定資産	19,214	20,536	1,322
負債の部（合計）	16,611	18,173	1,562
流動負債	10,030	10,270	240
固定負債	6,581	7,903	1,322
純資産の部（合計）	14,052	13,984	△68
株主資本	13,256	13,253	△3
その他の包括利益類額	141	148	7
非支配株主持分	654	583	△71
負債・純資産合計	30,663	32,157	1,494

(百万円)

資産の部（主な内訳）		
流動資産	現金及び預金	5,503
	受取手形及び売掛金	2,422
	商品	996
固定資産	有形固定資産	13,877
	無形固定資産	2,634
負債の部（主な内訳）		
流動負債	支払手形及び買掛金	1,616
	1年以内返済予定の長期借入金	2,671
	未払法人税等	1,149
	預り金	1,589
固定負債	長期借入金	6,473
純資産の部（主な内訳）		
	資本金	493
	資本剰余金	483
	利益剰余金	14,595
	自己株式	△2,319



連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2015年 8月期 第2四半期	2016年 8月期 第2四半期	主な内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,019	2,031	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前四半期純利益 2,541 ・減価償却費 1,538 ・のれん償却費 232 ・法人税等支払額 △1,361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,436	△2,884	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の取得による支出 △2,582 ・敷金及び保証金の差入による支出 △156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,191	173	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入れによる収入 3,062 ・長期借入金の返済による支出 △1,249 ・自己株式の取得による支出 △1,118
現金及び現金同等物の増減額	381	△688	
現金及び現金同等物の期首残高	5,169	6,142	
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,694	5,453	

※百万円未満切捨て

有形固定資産の取得と自己株式の取得によりキャッシュ・フローは減少

2016年8月期 第2四半期 セグメント別業績



株式会社コシダカホールディングス

JASDAQ

証券コード：2157

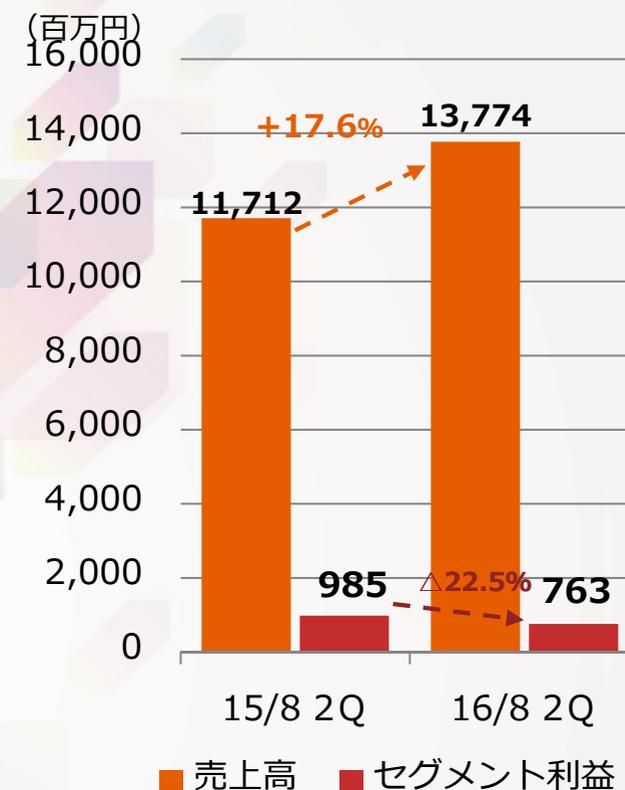
カラオケ事業業績



株式会社 **コシダカ** ホールディングス

カラオケ事業業績

	2015年8月期第2四半期		2016年8月期第2四半期		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	11,712	100.0%	13,774	100.0%	117.6%
売上原価	9,236	78.9%	11,003	79.9%	119.1%
売上総利益	2,475	21.1%	2,771	20.1%	112.0%
販売管理費	1,490	12.7%	2,007	14.6%	134.7%
セグメント利益	985	8.4%	763	5.5%	77.5%



※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

まねきねこ：

出店状況：新規22店舗（建築17店、居抜き5店）

内首都圏16店出店（東京10店、埼玉3店、千葉2店、神奈川1店）

秋からのZEROカラ好調

ワンカラ通期黒字も視野

ZEROカラについて

- ✓ 高校生グループ無料！（室料）
- ✓ グループ全店統一企画
- ✓ プロモーションに時間をかけ企画を練り込む

背景

高校生来店数15%ダウン
少子高齢化
シニア層から収益拡大は難しい

結果

- 来店数5%～7%アップ
- 家族までファンになる2次効果も
- 認知度向上（地方で利用された方が東京でも）
- カラオケルームの多目的利用も（勉強・楽器練習）



ZEROカラ 高校生無料! 高校生のカラオケルーム料金が0円! カラ

高校生のカラオケルーム料金が0円!

高校生無料!

高校生のカラオケルーム料金が0円!



ZEROカラ がさらに進化して
ZEROカラ+ (ゼロカラプラス) 登場!

高校卒業してから20歳までの
カラオケルーム料金が半額!

さらに! 高校生は学生証不要!そして、卒業してもお得な特典!

登録方法

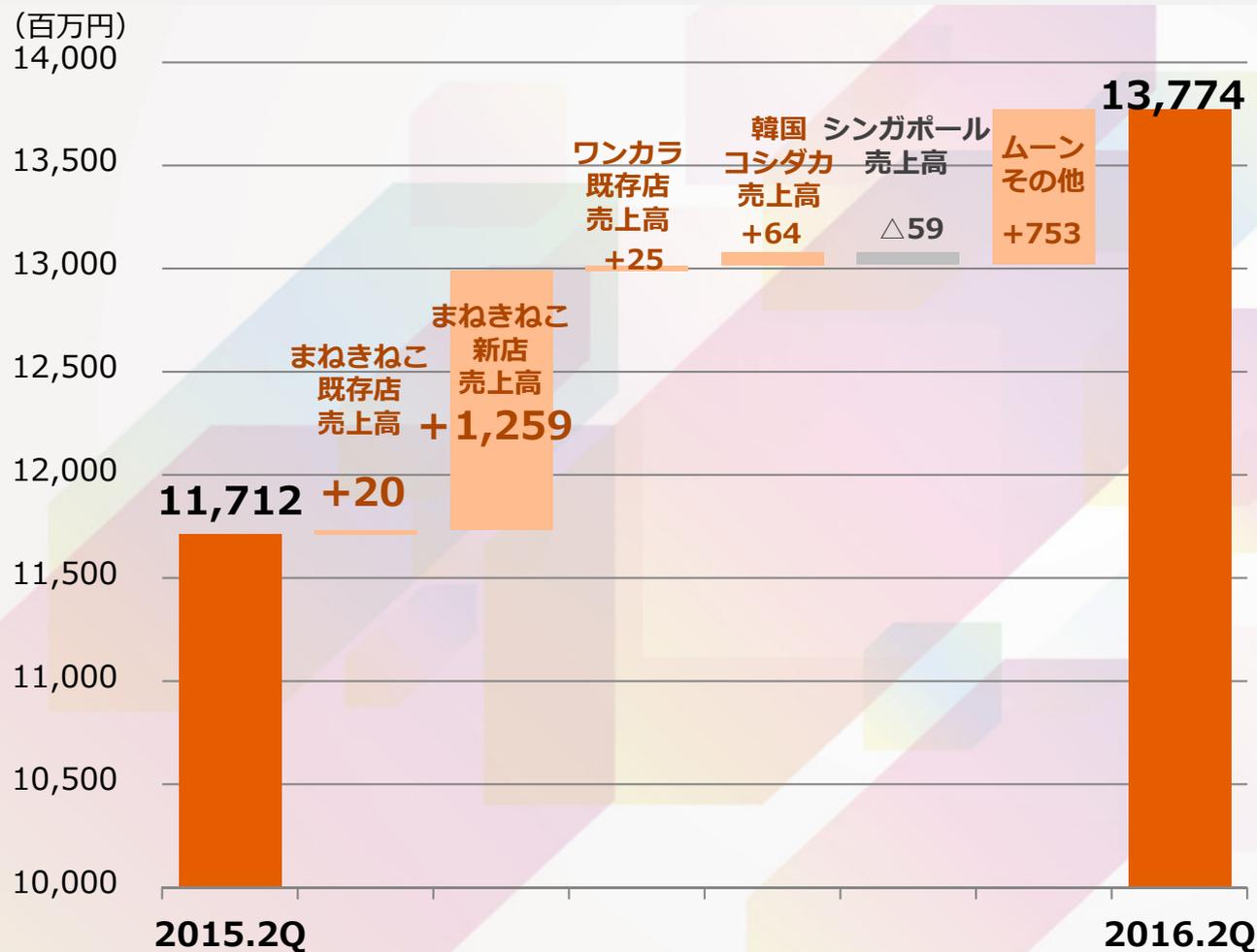
- 1 「すきっとリモコンアプリ」をダウンロード
- 2 「必要事項」を入力
- 3 店頭で「ZEROカラ会員画面」を見せるだけ!

※他券サービスの併用不可となります。※各地域ごとにサービス内容は異なる場合がございますので最寄りの店舗にご確認ください。
※原則2名様以上に適用。※地域条例に則り、18歳未満のお客様のご利用は、当社自主規制基準に定められた通り規制させていただきます。

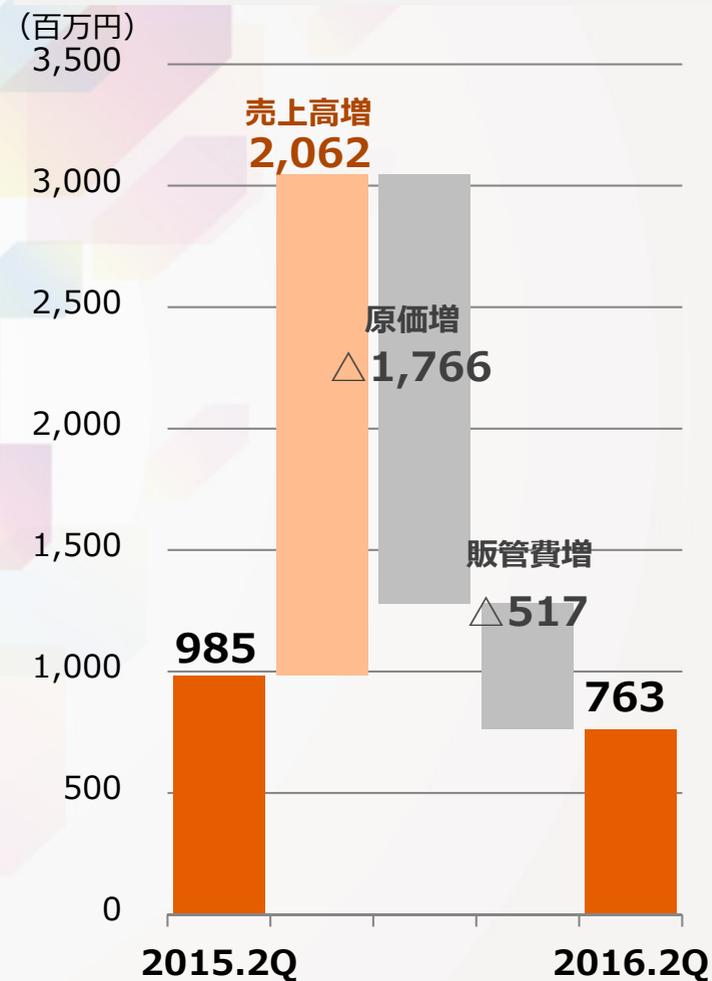
登録方法など詳しくはwebへ! ZEROカラ+

増減要因

売上高増減要因

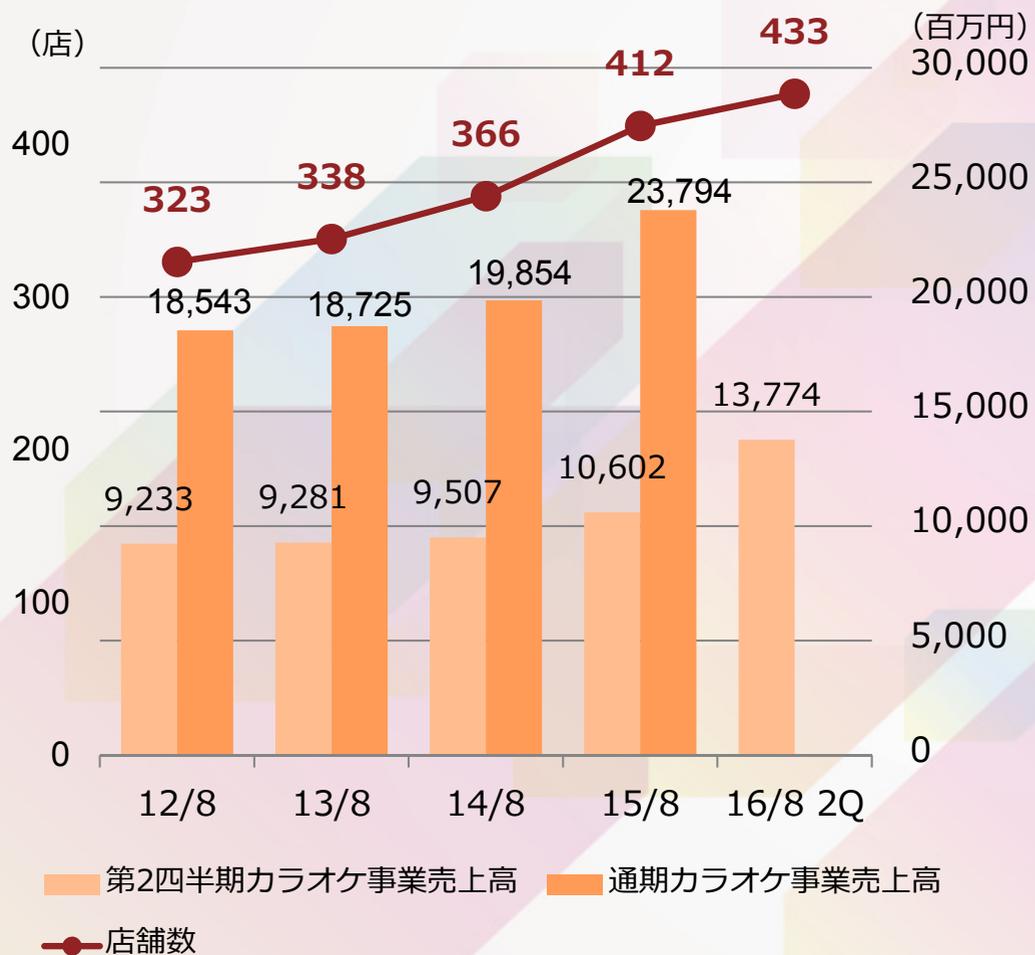


営業利益増減要因



国内売上高・店舗数推移

店舗数の推移



	2015年8月期 第2四半期	2016年8月期 第2四半期
国内店舗数 (店)	375	433
まねきねこ	365	402
ワンカラ	10	10
ムーン・シンシア	-	21

(2016年2月末時点)



株式会社 コシダカホールディングス

海外売上高・営業利益・店舗数推移

	2015年8月期 第2四半期	2016年8月期 第2四半期
海外売上高 (百万円)	1,087	1,074
まねきねこ (韓国)	79	125
シンガポール	1,008	949
海外営業利益 (百万円)	△43	29
まねきねこ (韓国)	△52	△56
シンガポール	9	86
海外店舗数 (店)	16	23
まねきねこ (韓国)	5	13
シンガポール	11	10

(2016年2月末時点)



まねきねこ (韓国)



まねきねこ (シンガポール)



JASDAQ

証券コード：2157

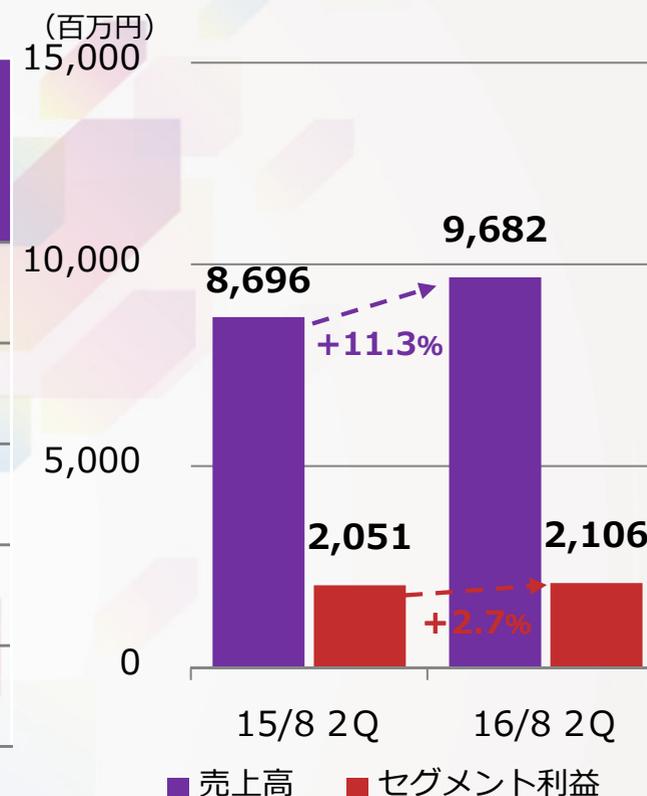
カーブス事業業績



株式会社 **コシダカ** ホールディングス

カーブス事業業績

	2015年8月期第2四半期		2016年8月期第2四半期		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	8,696	100.0%	9,682	100.0%	111.3%
売上原価	5,374	61.8%	6,166	63.7%	114.7%
売上総利益	3,322	38.2%	3,515	36.3%	105.8%
販売管理費	1,270	14.6%	1,408	14.5%	110.9%
セグメント利益	2,051	23.6%	2,106	21.8%	102.7%



※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

加盟店様の出店意欲旺盛、店舗網拡大

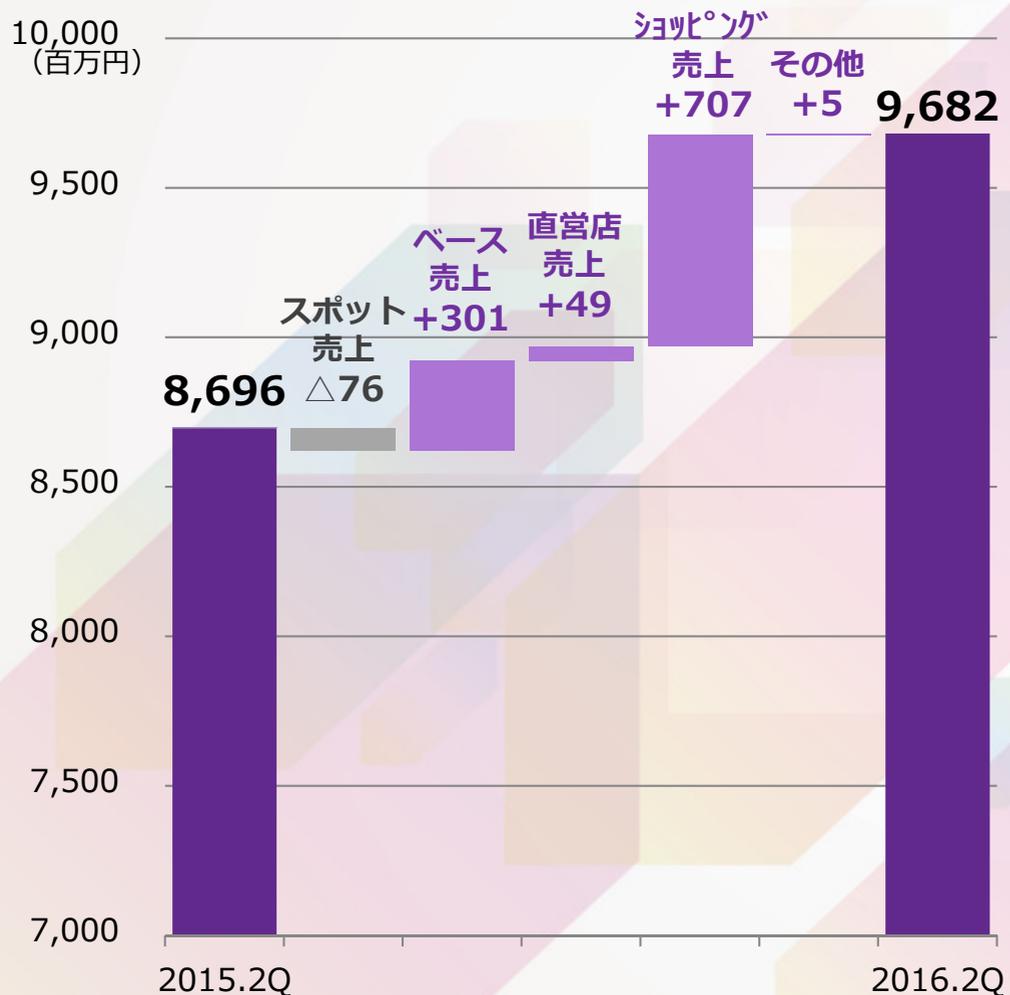
退会率2%台

会員向け物販好調

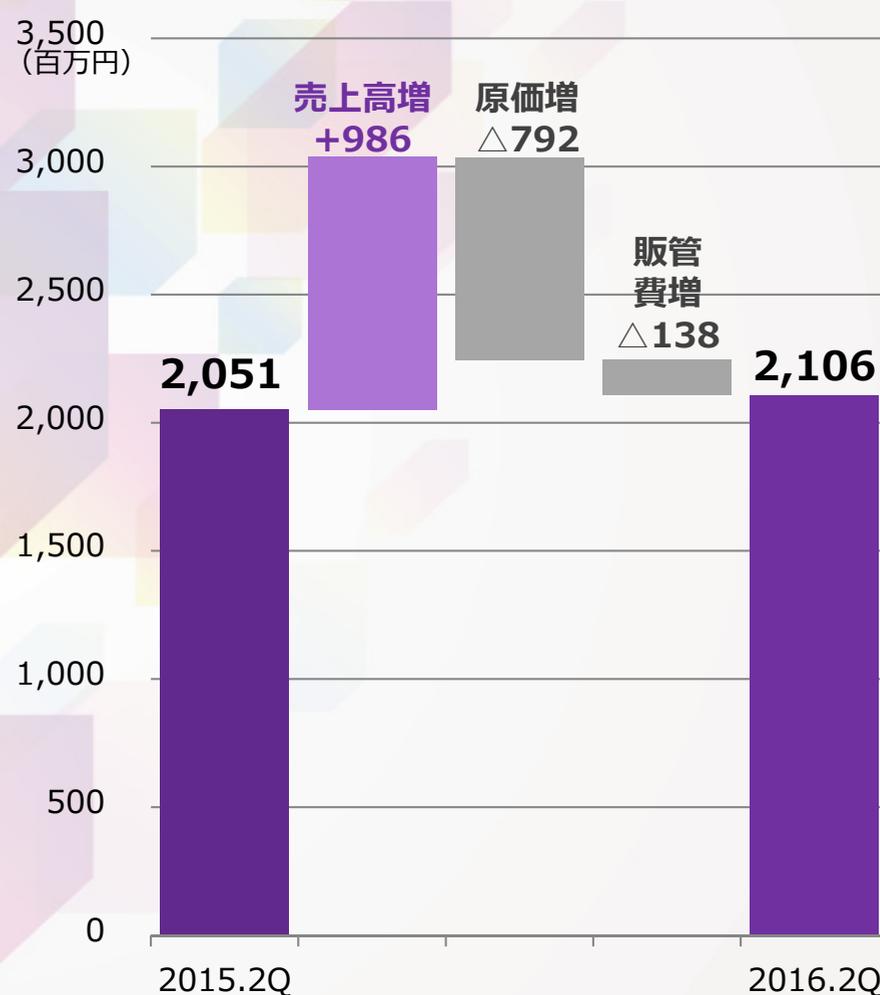


増減要因

売上高増減要因



営業利益増減要因



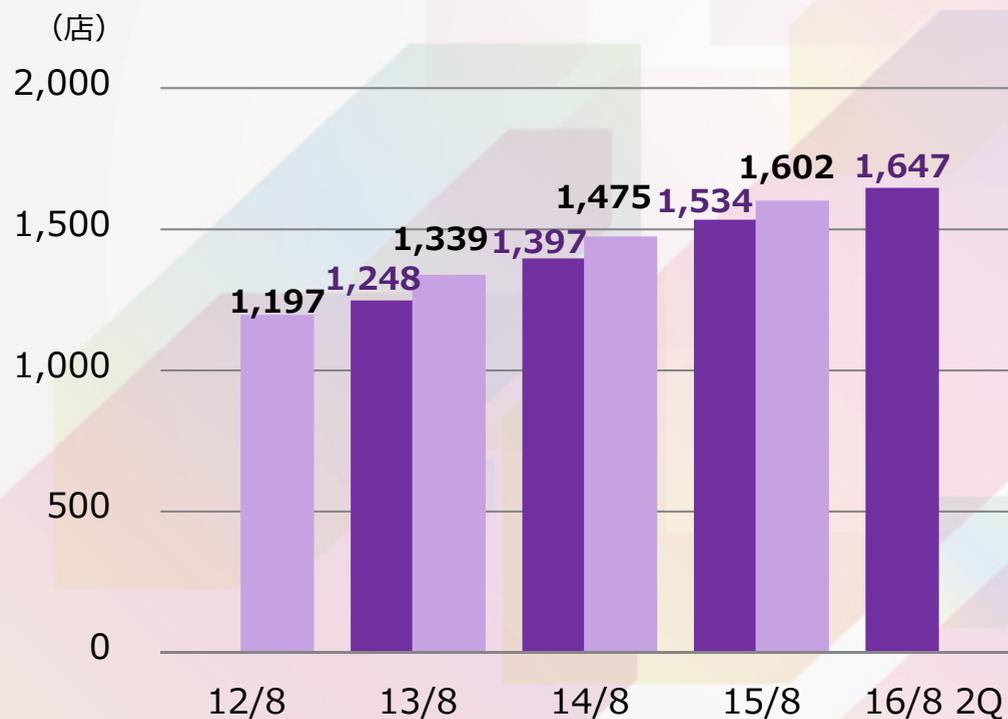
※「スポット」売上⇒加盟金収入等、店舗出店に関わる一時的な収入
 「ベース」売上⇒ロイヤルティ収入等、継続的な収入



店舗数推移

国内店舗数1,647店舗へ

店舗数の推移



■ 第2四半期末店舗数 (店) ■ 年度末店舗数 (店)

	2015年8月期 第2四半期	2016年8月期 第2四半期
店舗数 (店)	1,534	1,647
店舗数増加率 (%)	9.8	7.4
総会員数 (千人)	650	721
総会員数増加率 (%)	10.4	10.9

上期
46店舗出店

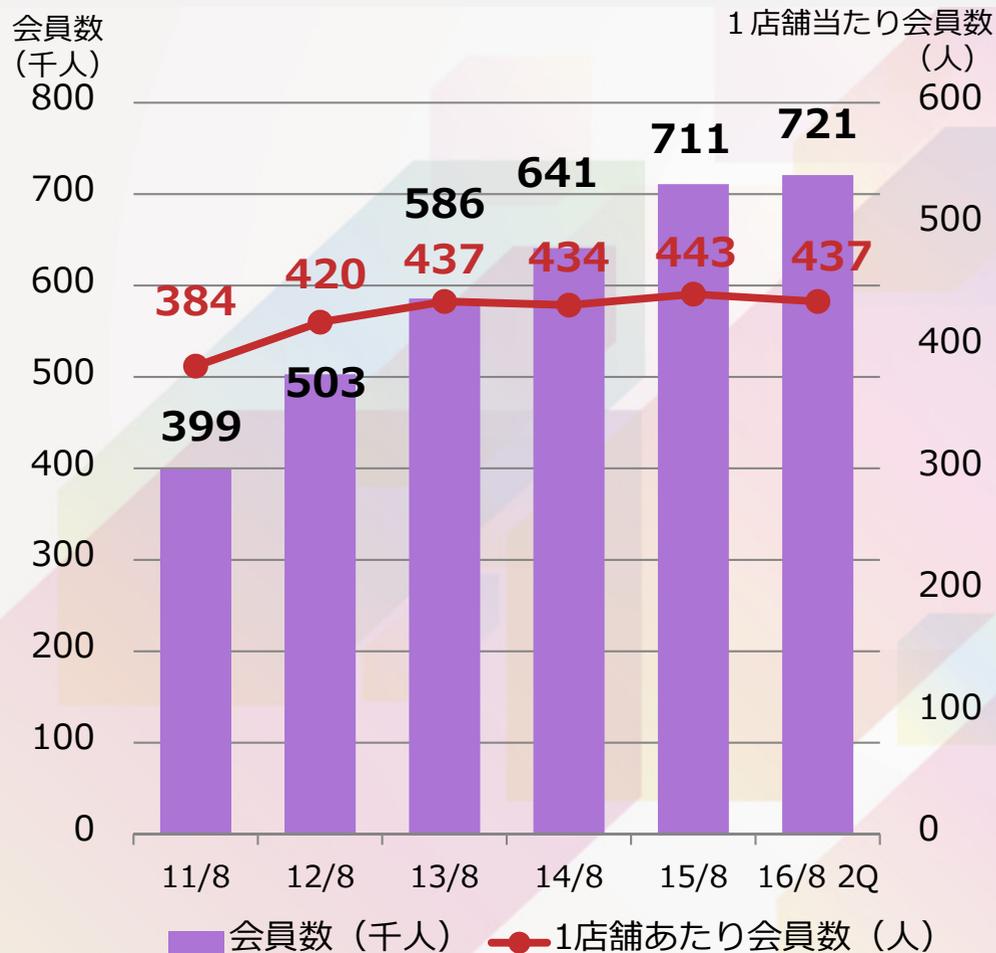
※2016年4月15日時点、店舗数1,668店



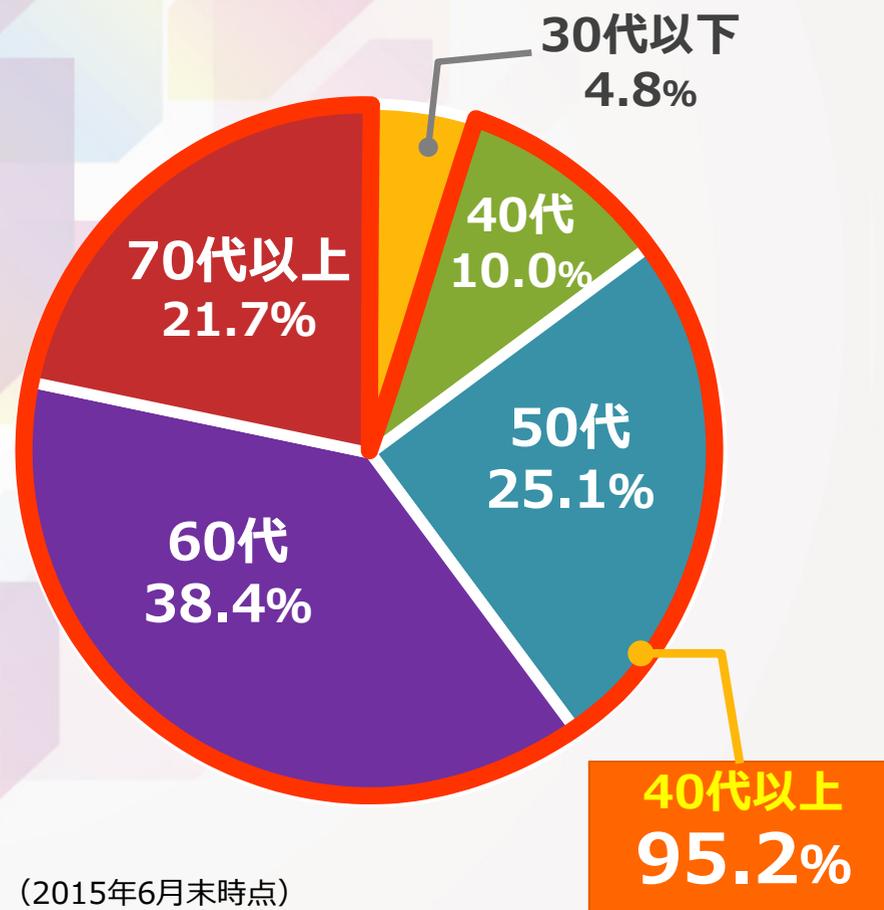
カーブス会員数推移

カーブス総会員数72.1万人

会員数の推移



年齢構成



(2015年6月末時点)



JASDAQ

証券コード：2157

温浴事業業績

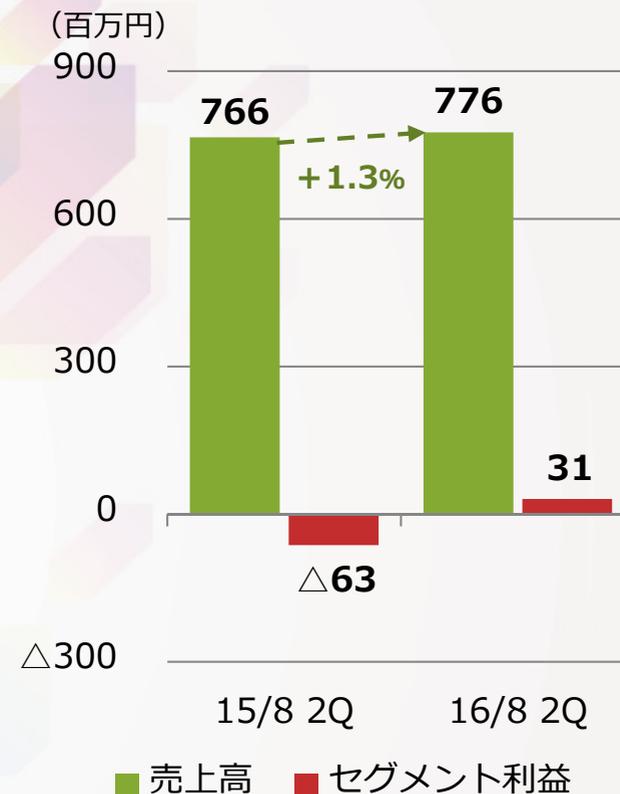


株式会社 **コシダカ** ホールディングス

温浴事業業績

黒字化達成！！！！

	2015年8月期第2四半期		2016年8月期第2四半期		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	766	100.0%	776	100.0%	101.3%
売上原価	804	105.0%	712	91.8%	88.6%
売上総利益	△ 37	△ 4.8%	64	8.2%	—
販売管理費	25	3.3%	32	4.1%	128.0%
セグメント利益	△ 63	△ 8.2%	31	4.0%	—



※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

曜日イベント等 各種キャンペーン施策

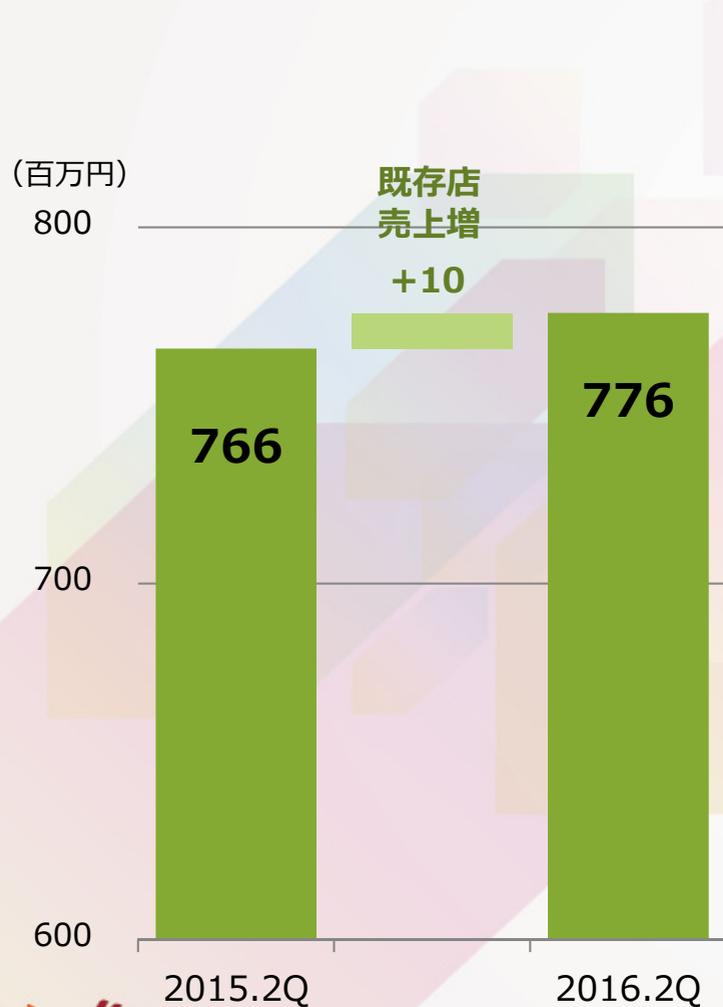
コミック誌等の充実により新たな顧客層の開拓

最新型濾過機の更新による電気、水道使用量の削減

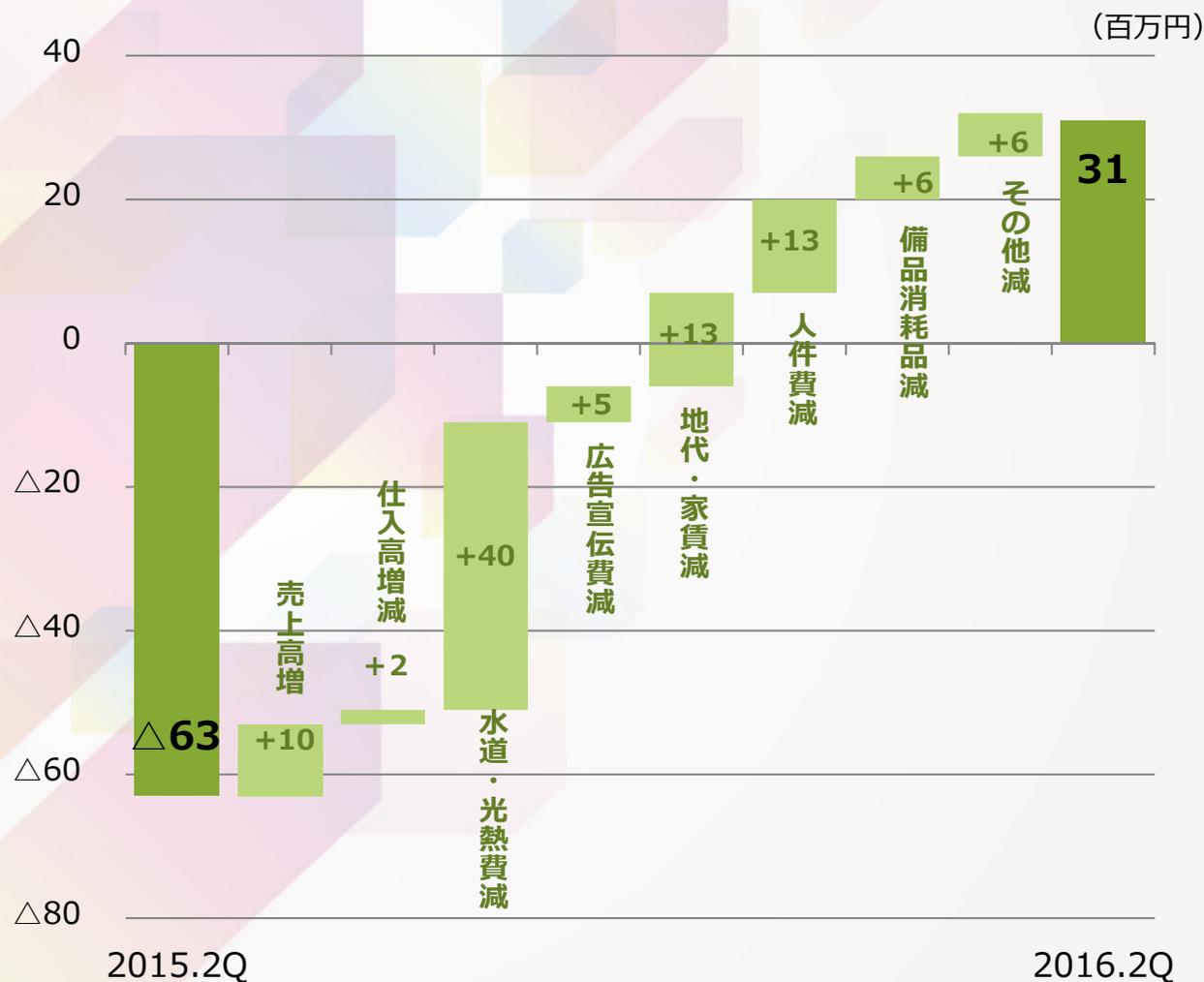
デマンド監視システム導入による適正使用量の可視化

増減要因

売上高増減要因



営業利益増減要因



JASDAQ

証券コード：2157

通期業績予想



株式会社 **コシダカ** ホールディングス

2016年8月期業績予想

連続増収・増益の見込み

(百万円)

	2015年8月期実績	2016年8月期予想	増減額	前年同期比
売上高	44,257	49,607	5,350	112.1%
営業利益	4,394	4,939	545	112.4%
経常利益	4,492	5,019	527	111.7%
当期純利益	2,098	2,410	312	114.9%
配当 (円)	30.00	30.00	-	-

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

- ・ 出店計画に変更なし
- ・ 配当通期30円の予定

JASDAQ

証券コード：2157

下期の戦略と今後の展開



株式会社 **コシダカ** ホールディングス

下期の戦略（カラオケ事業）

1 出店施策

- 40店舗（建築30店舗,居抜き10店舗）
- 地方郊外ロードサイドから駅前繁華街へ出店戦略転換
- 建築出店比率の上昇 = 資本装備率の上昇
- ワンカラ全店黒字化、出店も視野へ
- 1,000店舗体制へのスタート

2 営業施策

- ZEROカラの進化
 - ・ZEROカラ+（プラス）
- ワンカラ通期黒字化へ
- すきっとを通した各種コンテンツの充実
- 居抜き・地方で培った“現場力”に建築出店で“ハード面”をプラスにし強固なものに

3 海外展開

- 韓国
 - ・単月で黒字化を目指す
- シンガポール
 - ・K BOXまねきねこへリニューアル実施
- 東南アジア戦略のトータル戦略立案



下期の戦略（カーブス事業）

1 出店戦略について

- 年間100～120の出店計画の継続
- 会員数100万人に向けた店舗網構築



2 営業施策

- インストラクタースキルの強化による顧客満足度の一層の向上
☆ 2015年度JCSI（日本版顧客満足度調査）で2年連続1位、
すべての指標で1位（フィットネス部門）
- 新商品、新分野開発
- インフォーマーシャル（30分TVCM）の強化



受賞式

3 自治体との連携強化

- カーブス大山町健康センター（鳥取県）にて自治体と連携した運動普及活動の展開

下期の戦略（温浴事業）

1 通期店黒字化に向けた施策

- 運営面での強化
 - ・小学生入館無料・ビンゴ大会等 各種キャンペーンの継続・強化
 - ・東京健康ランドまねきの湯で好評の炭酸泉を他店への展開
 - ・新たな顧客ニーズに対応した施設、コンテンツの拡充



プレミアムスーパービンゴ大会

2 省エネルギー取り組みの深化

- 空調、濾過機、ボイラーなど基盤設備の更新による消費量の効率化

3 当面の目標

- 営業利益率10%を目指す



家族風呂（花園店）



高濃度人工炭酸泉
（東京健康ランド店）

株主還元策

株主優待

株主カタログギフト



100株以上 3,000円相当
1,000株以上 5,000円相当

株主優待券



100株以上の株主様
5,000円相当優待券謹呈

◆ 16/8期 配当年間30円予想

〈配当に関する考え方〉

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

コシダカグループの目指すもの

コシダカグループはこれからも
「**既存業種新業態**」を
開発・成長し続けてまいります。

お問い合わせ



▶ IRについてのお問い合わせ

株式会社コシダカホールディングス

TEL :03-6403-5710

e-Mail :i-koshidaka@koshidaka.co.jp

URL :<http://www.koshidakaholdings.co.jp>

本資料は、2016年8月期第2四半期の決算数値をもとに、企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2016年4月15日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。

本決算に記載されている当社および当社グループ以外の企業や業界等にかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。